

令和3年度 事業計画書



社 会 福 祉 法 人
大 和 善 隣 館

幼保連携型認定こども園 大和こども園拠点区分
分 園 やざき乳児保育園拠点区分
幼保連携型認定こども園 松陽こども園拠点区分
幼保連携型認定こども園 月津こども園拠点区分
幼保連携型認定こども園 中海こども園拠点区分
幼保連携型認定こども園 蓮代寺こども園拠点区分
芦城児童クラブ拠点区分
蓮代寺児童クラブ拠点区分
大和善隣館拠点区分(法人本部・奨学金)
大和ぬくもり大学拠点区分

令和 3 年度 社会福祉法人大和善隣館『事業計画』

令和 3 年度における事業計画の主要なものは、次の通りである。

1. 法人について

昭和 19 年 6 月 15 日創設、小松市大和町に誕生した社会福祉法人が本年 77 年を迎えます。

令和 3 年 4 月に小松市矢崎町に乳児保育所と子育て支援拠点を併設した法人拠点(本部事務局)に移転新築します。この機会に法人名称を『大和善隣館』にあらためて新たな気持ちでスタートするのが令和 3 年度です。本年を令和の誕生期『Re:Born』と捉え大きく飛躍するスタートの年度とします。

以降、主な事業については以下の通りです。

昭和期	22 年 4 月	小松市立図書館分館・小松市中央公民館併設
	12 月	財団法人小松市社会事業協会認可
	23 年 3 月	大和ミシン補導所開設(のちの「大和洋裁学院」)
	26 年 3 月	小松市社会福祉協議会が結成、業務を当法人が代行
	27 年 5 月	<u>社会福祉法人小松市社会事業協会として厚生省より認可</u>
	29 年 5 月	芦城校下公民館を併設
	30 年 4 月	小松市立育松園を受託経営(S57 年 3 月まで)
	7 月	小松市立双葉保育園を受託経営(S33 年 3 月まで)
	8 月	大和公益質屋を開設(H9 年 3 月廃止)
	31 年 4 月	小松市立病院内に大和福祉売店を開設(S63 年 3 月廃止)
37 年 1 月	大和料理専門学校を開設(平成 9 年 3 月廃止)	
55 年 4 月	小松市立あしのみ乳児保育所受託経営(H19 年 3 月廃止)	
平成期	4 年 7 月	中高年齢者対象の教養講座「大和ぬくもり大学」開設
	5 年 4 月	大和っ子教室(学童保育のちの芦城児童クラブ) 大和塾(健全育成事業)剣道部開設
	9 年 10 月	芦城センター竣工・同センター内に小松市社会事業協会事務局移設。同時に小松市中央老人福祉センターを受託経営
	17 年 4 月	小松市立松陽保育所を受託経営(定員 140 名)翌年民営化
	18 年 4 月	<u>法人名称を「社会福祉法人小松市大和善隣館」に変更</u>
	24 年 4 月	小松市立月津保育所(定員 120 名)を民営化
	27 年 4 月	法人運営 3 保育所が「幼保連携型認定こども園」へ移行し運営を開始
	29 年 4 月	社会福祉法改正施行。公益事業「奨学金貸与事業」認可
	30 年 4 月	小松市立中海保育所(定員 90 名)、蓮代寺保育所(定員 95 名)を民営化。幼保連携型認定こども園に移行し運営開始
	31 年 4 月	蓮代寺子育てセンター(同児童クラブ)指定管理受託
令和期	1 年 6 月	創立 75 年
	3 年 4 月	<u>法人名称を「社会福祉法人大和善隣館」に変更</u> 法人所在地を小松市矢崎町に移転。 大和こども園分園として「やざき乳児保育園」を新規開園

創立からの理念であり、法人名称にも謳っている「善隣のこころ」"いつでも どこでも そしてだれにでも われ等 善き隣人たらん"を運営の原点に捉えながら社会福祉事業を行ってきました。

当法人では現在実施する主な事業は次の通りです。

「第二種社会福祉事業」

- ・ 幼保連携型認定こども園 5 拠点
- ・ 分園：乳児保育所 1 拠点
- ・ 放課後児童健全育成事業(学童クラブ)2 拠点
- ・ 老人福祉センター事業(大和ぬくもり大学)

「公益事業」

- ・ 奨学金貸与事業

平成 25 年に策定した 10 年ビジョンを早期に完了(施設数増加、施設の新設・改修工事等の大規模投資)し、法人の次へのステップのためを含め、法人名変更を実施しました。人材育成を中心に福祉サービスを一步進めた法人の充実・飛躍期とすべく事業を進めていく所存です。

複数施設運営のノウハウとメリットを福祉事業に活かし、様々な取り組みにおいて社会福祉法人の範とされる法人経営を目指し”大和善隣館”のブランドを高めていきます。

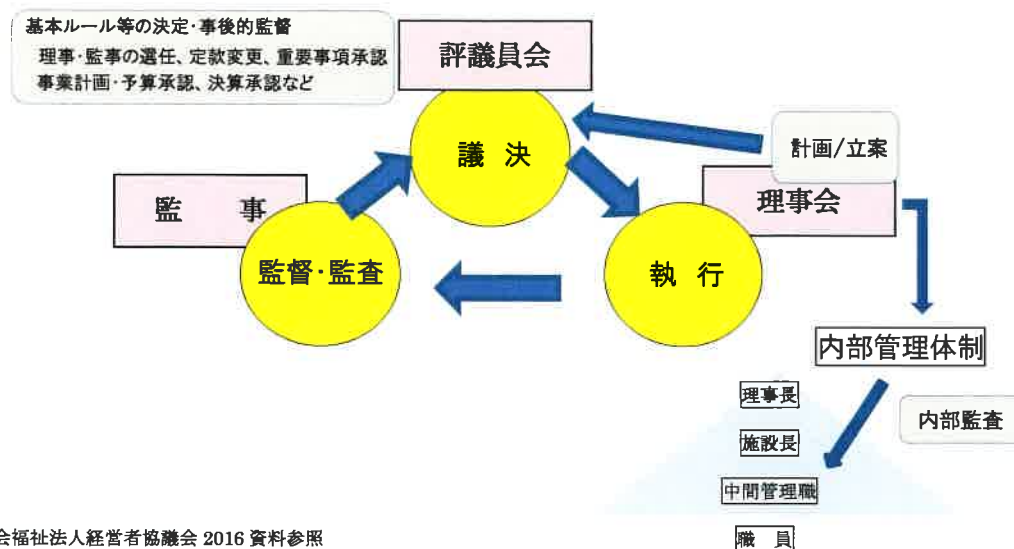
令和 3 年 3 月 22 日提出

社会福祉法人大和善隣館

理事長 和田 良一

2. 経営組織について

・社会福祉法改正により経営組織の改編が行われ、議決機関である「評議員会」、業務執行機関である「理事会」、業務執行状況等法人全般の監督・監査機関となる「監事」と、役割分担が明確化しました。



全国社会福祉法人経営者協議会 2016 資料参照

(1) 評議員会について

理事会の選出名簿から「評議員選任・解任委員会」により選任。法人の議決機関として、理事監事の選任・解任、定款の変更、予算・決算・事業計画・事業報告の承認、社会福祉充実残額・計画の承認など、法人の重要議案を議決する。

尚、定数は7名以上12名以内、任期は平成29年4月1日から令和3年度開催の定時評議員会終了までとなり、本年改選を迎えます。

(2) 理事会について

役員等選任に関する基準により、役員選考委員会提出の候補者名簿から評議員会により選任。法人の業務執行機関として、業務執行の決定、理事長及び業務執行理事の選定・解職、評議員会の開催要項の決定、事業計画・予算・決算・事業報告の承認などを行う。

尚、定数は6名以上10名以内、社会福祉法改正後の新任理事の任期は令和1年の定時評議員会から令和3年度開催の定時評議員会まで2年間となり、本年改選を迎えます。

(3) 監事について

役員等選任に関する基準により、役員選考委員会提出の候補者名簿から評議員会により選任。理事の業務執行の状況及び法人の財産の執行状況を監査し、毎年監査報告書を作成し、理事会・評議員会及び小松市長に報告します。また、監査の機能を高めるため研修会への参加のほか、理事会・評議員会との連携を深め、業務の適正な執行に助言を行う。

尚、定数は2名以上、社会福祉法改正後の新任理事の任期は令和1年の定時評議員会から令和3年度開催の定時評議員会まで2年間となり、本年改選を迎えます。

(4) 福祉サービス苦情解決第三者委員について

社会福祉法第82条の規定並びに当法人定款第1条に定める利用者からの苦情解決に社会性、客観性を確保した適切な解決を図ることを目的に各施設に設置しその対応に努めていきます。

当法人では、福祉サービス苦情解決第三者委員設置規程に基づき、施設所在地の福祉関係者が第三者委員に選任され、苦情解決責任者・苦情受付担当者とともに苦情解決に努めることとなります。また、本部及び各施設設置のホームページ及び意見箱にて広く意見を収集できる体制を整えています。

尚、委員の任期は2年で、令和4年7月31日に任期満了となります。

令和3年度 社会福祉法人小松市大和善隣館 施設概要

●施設一覧

施設名	定員等			開設年月日	所在地
幼保連携型認定こども園 大和こども園	1号	15名	計 275 名	平成27年4月1日 (昭和19年6月15日)	小松市大和町102番地
	2号	155名			
	3号	105名			
幼保連携型認定こども園 松陽こども園	1号	15名	計 155 名	平成27年4月1日 (平成17年4月1日)	小松市大領中町1丁目 171番地
	2号	80名			
	3号	60名			
幼保連携型認定こども園 月津こども園	1号	15名	計 145 名	平成27年4月1日 (平成24年4月1日)	小松市月津町め57番地
	2号	70名			
	3号	60名			
幼保連携型認定こども園 中海こども園	1号	15名	計 105 名	平成30年4月1日	小松市軽海町ノ16番地4
	2号	51名			
	3号	39名			
幼保連携型認定こども園 蓮代寺こども園	1号	15名	計 105 名	平成30年4月1日	小松市蓮代寺町 に173番地
	2号	45名			
	3号	45名			
幼保連携型認定こども園大和こども園分園 やざき乳児保育園	2号	29名	計 29名	令和3年4月1日	小松市矢崎町ナ129番地1
3号					
芦城児童クラブ1	45名			平成17年4月1日 (平成22年4月1日分割)	小松市西町25番地
芦城児童クラブ2	45名				
蓮代寺児童クラブ	25名			平成31年4月1日～ 令和5年3月31日 (指定管理)	小松市蓮代寺町ハ丙16番地
大和ぬくもり大学	400名			平成4年7月1日	小松市相生町11番地

令和3年度 社会福祉法人小松市大和善隣館 年間主要行事予定①認定こども園

	大和こども園	松陽こども園	月津こども園
4月	はじめましての会	入園進級おめでとうの会 春の遠足(4.5歳児)	3お迎えの会 親子で遊ぼう(4.5歳児)
5月		整備作業 いも苗植え	親子で遊ぼう(2.3歳児) いも苗植え(3.4.5歳)
6月	11 祖父母総会	春の遠足(2.3歳児) トンボの楽園	花寄せの会 整備作業 プール開き
7月	2 七夕のつどい 年長組おたのしみ行事 13・15 年中組保育参加と懇談会年中組 27・29 1歳児保育参観と懇談会	2 七夕の会 夏まつり	七夕の会 プラネタリウム見学(4.5歳児) 17夏まつり 小学校見学
8月	7 大和ちびっこ夏祭り 19・20 2歳児保育参観と懇談会 23 芦城フェスタ年長組参加	川遊び 親子でお楽しみ会(5歳児) 保育参加(3歳児)	どろんこの会 第二松寿園夏祭り参加 学童クラブとの交流会 保育参観&懇談会(2歳児) 保育参加&懇談会(3歳)
9月	25 親子運動会	18 保育参加(4歳児) 運動会	18 運動会 校下敬老会参加(5歳児) 保育参観&懇談会(0歳児) 保育参加&懇談会(4歳児)
10月	芋掘焼芋パーティー 6 年少組保育参加と懇談会 16 清掃奉仕 30 年長組剣道参観と懇談会	保育参加(2歳児) 芋掘り 秋の遠足(2歳児以上) 3年生と交流会 整備作業	芋掘り 焼き芋会(3.4.5歳児) 第二松寿園祭参加(4歳児)
11月	6 講演会 16・18 0歳児保育参観と懇談会 27 2歳児・年中組生活発表会	保育参加(0.1歳児) 生活発表会	講演会&保育参加 小さな音楽会 小学校授業見学
12月	18 年少組・年長組生活発表会 23 未満児クリスマス会 24 以上児クリスマス会 27 もち花づくり	23 未満児クリスマス会 24 以上児クリスマス会 27 もちつき会(鏡餅づくり)	10.11 生活発表会 24 クリスマス会
1月	12・13 伝承遊び	12 お茶会(初釜)	学童クラブとの交流会 小さな音楽会 保育参加&懇談会(5歳児)
2月	2・3 豆まき 4 新入園児説明会 16・18 年中組保育参加と懇談会	2.3 豆まき会 保育参加とお茶会(年長児) 1年生と交流会 新入園児健診・説明会	3 豆まき会 1年生と交流会・授業見学 新入園児健診・説明会
3月	3 ひな祭りお茶会 8 新入園児お迎えの会 11 お別れ会 26 卒園式	3 ひな祭り会 お別れ遠足(4、5歳児) ふれあいお茶会 お別れ会 26 卒園式	お別れ会 お別れ遠足(4.5歳児) 整備作業 26 卒園式
通年	剣道教室 英語教室 日本語で遊ぼう(素読) 運動遊び	お茶教室 よさこい教室 伝統芸能にふれよう クーパー・コーチング・サッカー スクール	日本語で遊ぼう(素読) (5歳児) 体育教室(4.5歳児) リトミック遊び(3歳児) ミュージック・ケア(4歳児)

令和3年度 社会福祉法人小松市大和善隣館 年間主要行事予定②認定こども園

	中海こども園	蓮代寺こども園	やざき乳児保育園
4月	5入園進級おめでとうの会(子どものみ) お花見 春の山歩き(5歳児)	花見会	はじめましての会
5月	野菜・さつま芋苗植え 整備作業(外回り) 田植え(5歳児) 保育参加兼親子遠足(雨天中止) 現地集合・現地解散	春の遠足(3.4.5歳児) よもぎおはぎ作り	
6月	梅干しづくり 夏野菜の栽培 ウナギ買い出し(5歳児) 30 プール開き	プール開き 祖父母参観(年齢別)	保育参加
7月	夏祭り(子どものみ) 校下納涼おどり 5年生とじゃがいも堀(5歳児)	夏祭り	7七夕の会
8月	川遊び(4.5歳児)	2.3.4.5歳児保育参加と懇談会	
9月		8末広プール(5歳児) プール納会 運動会 整備作業	ミニミニ運動会
10月	運動会 秋の遠足(2才以上) 焼き芋会(子どものみ) 秋の山歩き(5歳児)	校下スポーツフェスティバル(5歳児) 小学校見学 親子遠足(3.4.5歳児) 秋の遠足(2歳児)	
11月	フェスタ中海に参加(5歳児)	お楽しみ発表会 0.1歳児保育参加	保育参観と講演会
12月	表現会(3.4.5歳児) もちつき(鏡餅・餅花) クリスマス会	クリスマス会 鏡餅づくり	生活発表会(2歳児) 24クリスマス会
1月	大杉そりすべり		
2月	豆まき会 新入児健診・説明会 味噌づくり(4歳児) 卒園記念写真撮影	豆まき会 新入園児健診・説明会 1年生徒との交流会 保育参加と講演会	3豆まき会 新入園児健診・説明会
3月	思い出遠足(4.5歳児) お別れ会 卒園式	ひな祭り・新入園児お迎えの会 お別れ遠足(4.5歳児) お別れ会 整備作業 卒園式	ひなまつり会 修了の会
通年	お茶のおけいこ(5歳児) 日本語で遊ぼう(5歳児) トランポリン教室(5歳児) かきかた教室(5歳児)	蓮代寺太鼓 ことばあそび よさこい	

令和3年度 社会福祉法人小松市大和善隣館 年間主要行事予定③その他

	芦城児童 クラブ	蓮代寺児童 クラブ	大和善隣館		
			本 部		大和ぬくもり 大学
			評議員	理事・監事	
4月	新入所歓迎会 おやつパーティー	新入所歓迎会 お花見		理事会（評議員選任 候補者の推薦） ※新型コロナウイルス 感染症終息後、月 次理事会再開	
5月	手作り広場 花植え	母の日プレゼント作 り		監事監査 理事会（①決算審議 ②役員候補者推薦）	
6月	スポーツデー 科学遊び	レクリエーション	定時評議員会（①決 算審議②理事・監事 選任）	理事会（理事長、常 務理事の選定）	
7月	バス遠足 将棋週間	お店屋さんごっこ			
8月	わくわく出前講座 夏の集い おやつまつり	わくわく出前講座 蓮代寺まつり			
9月	手作り広場 科学遊び	ドッジビー大会			
10月	お買い物体験 ハロウィンパーティー	ハロウィンパーティ ー		理事会（評議員招 集）	
11月	ドッジビー大会	手作り広場	評議員会(補正予算)	理事会(補正予算)	
12月	手作り広場 クリスマス会	クリスマス会			
1月	新年会 手作り広場	お正月遊び			
2月	節分豆まきの会 スポーツデー	節分		理事会（評議員招 集）	
3月	木場潟一周ウォーキン グ 映画鑑賞(3年生)	遠足	評議員会 (予算・事業計画審 議)	理事会 (予算・事業計画審 議)	

●職員配置予定

		大和		松陽		月津		中津		海蓮		代寺		やざき		芦城児童クラブ		蓮代寺		大和善隣館		大和ぬくもり大学		計														
		こども園		こども園		こども園		こども園		こども園		こども園		乳児保育園		一		二		児童クラブ		本部			もり大学													
		正規	非常勤	正規	非常勤	正規	非常勤	正規	非常勤	正規	非常勤	正規	非常勤	正規	非常勤	非常勤	非常勤	非常勤	非常勤	非常勤	非常勤	非常勤	非常勤		非常勤													
		準職員	嘱託	準職員	嘱託	準職員	嘱託	準職員	嘱託	準職員	嘱託	準職員	嘱託	準職員	嘱託	嘱託	嘱託	嘱託	嘱託	嘱託	嘱託	嘱託	嘱託		嘱託													
施設長	事務局長																				1			1														
	園長・所長等		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1			7														
副施設長	学長																							1														
	副園長		1						1					1										3														
保育教諭・支援員等	教頭	1								1														2														
	主幹・主任			1	1	1		1	1	1						1		1						8														
	副主幹																							0														
	主査	1		1				1					1											4														
	主査補	3		4		2		1			1													11														
	担当	10	12	12	7	8	1	10	6	6	1	11	3		11	5	3	1	12	1		5	1	3	1	2	2		134									
衛生管理	派遣						1		1			1												3														
	養護教諭											1		1										2														
	看護師・保健師	1		1		2	1		1	1		1												8														
	准看護師															1								1														
給食	派遣																							0														
	栄養教諭					1																		1														
	管理栄養士	1																						1														
	栄養士	1	1	3		1		1	1	1	1	1	1	1	1		1							13														
相談員・事務員	調理師(派遣含)	1		1	1	1		2	1		1	1	2											11														
	係長																					1		1														
	主事																					1		1														
	主事補																							0														
その他	担当	1		1		1		1										1		1		1		7														
	保育補助(派遣含)			6		6		6		3		3												24														
	通訳(派遣含)			2																				2														
	運転士		1		1					1		1												4														
講師	駐車場誘導員		1																					1														
	剣道/茶道等		1		3		1			1		2												8														
小計	ぬくもり大学																							19														
	合計	19	13	3	25	16	10	3	24	13	6	2	22	10	1	3	20	11	3	2	22	3	0	1	7	2	0	3	2	0	3	1	1	2	4	0	0	1
合計		60		53		43		34		38		11		10		4		4		20						278												
学校医	産業医			1		1																		2														
	内科/小児科医			1		1		1		1		1		1		1								6														
	歯科医			2		1		1		1		1		1		1								7														
	薬剤師			1		1		1		1		1		1		1								6														

幼保連携型認定こども園「大和こども園」

令和3年度事業計画

園長：池田巧/副園長：桶田かおる / 教頭：大西千鶴

★中長期計画(5ヶ年計画)

●教育保育目標

しっかりした子

- ・人に思いやりを一明るさ・やさしさ(なでしこ)
- ・きびしさを自分に一がまん強さ・やる気(松)

●施設整備計画

年度	R1	R2	R3	R4	R5
計画	空調等改修実施設計/工事着手	空調等改修工事完了		屋上園庭事業	

●人事計画目標

- ・園内研修及びカンファレンスを生かした資質向上を図る。
- ・職員育成・評価シートと連動した面談から、キャリアパスフレームに基づいた意識の向上を図る。
- ・キャリアアップ研修の計画的な受講を勧め、一人一人へのキャリアの構築を図る。
- ・若手の育成を念頭にOJTを実施し、実践力を高める。
- ・県内外の保育の視察研修を行い、保育の視野を広める。
- ・幼稚園免許の取得・更新を推進する。

●働き方改革

- ・週2hノンコンタクトタイムが取得できるよう人員配置を補充する、(令和3年度10月より)
- ・業務の効率化のためのICT化の充実。

●収支計画目標

- ・適切な予算の執行に努め、収支の安定を図る。

★単年度事業計画

●教育保育計画

- ・教育保育課程運用の重点を定め、月目標の焦点化を図りながら、生活全体を通して様々な体験を積み重ね、5つの領域の内容が総合的に含まれるような教育保育を行う。
- ・年間の教育・保育計画を基に、知識・技能の基礎、思考力・判断力・表現力の基礎、学びに向かう力や人間性といった資質・能力を育む。
- ・小学校との接続を踏まえた保育実践に努める。
- ・年齢に応じた主体的な遊びを展開できるように、一人一人への願いをもち、環境構成等を工夫する。
- ・毎日の実践記録の継続から、子どもの育ちを確認し、意図的・計画的な保育の展開の定着を図る。
- ・運動会や生活発表会等の行事への取り組みの中で「主体的・対話的で深い学び」の実現を図り、日々の保育への浸透を図る。

●食育計画

- ・保護者と連携・協力し、健康な生活の基本として食を営む力を育て、食への関心や態度を養い、望ましい食習慣の育成を図る。
- ・子どもが生活や遊びの中で、意欲を持って食に関わる体験を積み重ねられるよう全職員が協力し、食育活動の創意工夫を図る。

●保健衛生計画

- ・子ども一人一人の成長発達を把握し、身体的・精神的変化を見逃さず、対応を行う。
- ・保育室内の環境衛生を整え、感染症を予防する。

●外国籍児童対策

- ・ブラジル国籍児への対応としてポルトガル語の通訳翻訳担当専任職員を配置し、異文化理解のもとに支援を行う。

●地域との連携

- ・災害時の協力や交流活動への参加を図る。
- ・情報誌を作成し、情報発信を積極的に行っていく。

●加算事業実施予定

加算事業状況		加算事業
加算部分①	実施事業	処遇改善加算Ⅰ, 副園長, 教頭配置/学級編成調整/3歳児配置改善/満3歳児対応加配(未定), チーム保育加算, 通園送迎, 給食実施
	未実施	外部監査費
加算部分②	実施事業	処遇改善加算Ⅱ, 療育支援, 事務職員雇上加算(事務負担), 冷暖房費, 栄養管理
	未実施	指導充実加配, 除雪費, 降灰除去費, 第三者評価受審
3月事業報告		施設機能強化推進, 高齢者等活躍促進, 施設関係者評価, 小学校接続

●特別保育事業等実施予定

特別保育事業	補助金の有無	実施状況
延長保育促進事業	適用あり	実施
休日保育	適用あり	R3年度より実施
病児保育事業(体調不良児)	適用あり	1名配置
地域子育て支援拠点事業	小松市廃止	実施しない
一時預かり事業	マイ保育園	状況により実施
保育体制強化事業	適用あり	実施
保育補助者雇上加算事業	適用あり	実施
外国児童支援事業	適用あり	実施

●小松市単独事業等実施予定

小松市/わくわくサイエンス	100,000円/年	実施予定
小松市/元気つっこまつ	50,000円/年	実施予定
保育環境支援(障害者雇用枠)	50,000円/月	該当なし
地域公益事業/カブッキーランド協賛支出	290,000円/年	実施予定

★定員と入園状況(下段は4月入園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小計	合計
1号認定				5	5	5	15	
				5	7	3	15	
2号認定				45	55	55	155	275
				34	28	38	100	
3号認定	30	35	40				105	(70.9%) 対前年 ▲15
	4	34	42				80	

幼保連携型認定こども園「松陽こども園」

令和3年度事業計画

園長：森 都

★中長期計画(5ヶ年計画)

●教育保育目標

「心身ともに健やかな子ども」

げんきなからだ・やさしいところ・がんばるちから

●施設整備計画

年度	R1	R2	R3	R4	R5
計画	駐車場夜間照明設置		・園庭改修工事 (企画・プランニング) ・ICT化	園庭改修工事	

●人事計画目標

- ・職員研修規定の積極的運用により資質向上を計る
- ・キャリアアップ研修等の計画的受講により職員一人一人のキャリアの構築を目指す。
- ・保育者向就職情報誌「ココキャリ」掲載/養成校からの優秀な人材の確保

●収支計画目標

- ・地域の実情に合わせた定員設定を行う
(定員数を170名から155名に変更)

★単年度事業計画

●教育保育計画

- ・子どもが安心感と信頼感をもって活動に取り組めるよう、子ども一人一人に思いを寄せ「心の土台」を育む。
- ・子どもが心動かされているものをしっかりと捉えてより良い環境をつくり、子どもが自発的・主体的に遊ぶ中で「生きる力の基礎」を育む。

●食育計画

- ・食を通して、子どもたちが人とのかつながりをお大切にしたり、食材に関心を持ったりし、感謝の気持ちや命をお大切にする力を育てる。
- ・さまざまな食育活動の中で食べることを楽しみ、食と生命のかかわりや自然の恵み、調理する人へ感謝の気持ちや命をお大切にする気持ちを育てていく。

●保健衛生計画

- ・子どもたちが心身ともに健康で安全に過ごせるよう保健管理(心身面・環境面)をお適切に実施していく。
- ・子どもたちが自分の体や健康に関心を持ち、病気の予防など必要な活動を推進する。
- ・園内の環境衛生を整え、感染症の予防をする。

●子育て支援計画

- ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育て等に関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育て及び子育て支援に関する講習等の実施により地域の子育てを支援する。
- ・交流の場に出てこれない親子への支援

●地域との連携

- ・災害時における地元町内との協力体制の強化を図る。
- ・地域の方々(畑の先生他)との交流活動をさらに充実させる。
- ・地域行事に積極的に参加し、園行事にも参加していただく。
- ・情報誌を作成し、地域に開かれた園として情報発信を積極的に行っていく。

●小学校との接続・連携

- ・小学校との交流会、授業見学などを通して連携を図り、更なる関係性を構築していく。

●加算事業実施予定

加算事業状況		加算事業
加算部分①	実施事業	処遇改善加算Ⅰ、学級編成調整/3歳児配置改善/満3歳児対応加配(未定)、チーム保育加算、通園送迎、給食実施 講師配置
	未実施	外部監査費
加算部分②	実施事業	処遇改善加算Ⅱ、療育支援、事務職員配置加算、冷暖房費、栄養管理
	未実施	指導充実加配、除雪費、降灰除去費、第三者評価受審
3月事業報告		施設機能強化推進、高齢者等活躍促進、施設関係者評価、小学校接続

●特別保育事業等実施予定

特別保育事業	補助金の有無	実施状況
延長保育促進事業	適用あり	実施
病児保育事業(体調不良児)	適用あり	1名配置
地域子育て支援拠点事業	小松市廃止	実施
一時預かり事業	マイ保育園	実施
保育体制強化事業	適用未定	実施未定
保育補助者雇上強化事業	適用未定	実施未定
外国児童支援事業	適用未定	実施未定
健やかふれあい保育事業	適用あり	6名予定

●小松市単独事業等実施予定

小松市/わくわくサイエンス	100000円/年	実施予定
小松市/元気っ子こまつ	50,000円/年	実施予定
保育環境支援(障害者雇用枠)	50,000円/月	実施予定
地域公益事業/カブッキーランド協賛支出	183,000円/年	実施予定

★定員と入園状況(下段は4月入園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小計	合計
1号認定				5	5	5	15	155 対前年
				6	3	6	15	
2号認定				25	25	30	80	▲15 139
				27	20	13	60	
3号認定	20	20	20				60	(897%) 対前年 +12
	10	28	26				64	

幼保連携型認定こども園「月津こども園」

令和3年度事業計画

園長：荒井 早苗

★中長期計画(5ヶ年計画)

●教育保育目標

心身ともに健康な子ども 自然を大切にする子ども
自分で考えて行動できる子ども

●施設整備計画

年度	R1	R2	R3	R4	R5
計画					チャレンジキッズの交換

<備考>

子どもの安全と環境を整える。(補助事業助成金を有効活用)

●人事計画目標

- ・優秀な人材の確保(途中採用含む)。
- ・職員研修規程に基づき資質向上を図る。
- ・キャリアアップ研修の計画的受講等により、職員一人一人のキャリアの構築を目指す。
- ・幼稚園教諭免許状の更新の推進

●収支計画目標

- ・定員を守り加算などによる収支の安定を図る。

★単年度事業計画

●教育保育計画

- ・生きる力の基礎を育むため、「知識・技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」を一体的に育んでいく。
- ・人的・物的環境を工夫し、園児一人一人が主体性を発揮して活動を展開し、充実感や満足感を味わうことができるようにする。

●食育計画

- ・食育計画に基づき、様々な人との関わりを通して豊かな「食を楽しむ」経験を積み重ねる。
- ・地産地消を心がけ、地元で採れた野菜を提供する。
- ・様々な体験をすることにより感謝の気持ちを持ち、自分の体や健康にも関心を持てるようにする。

●保健衛生計画

- ・健康状態や発育及び発達の状態の把握、園児一人一人の健康の保持及び増進。
- ・疾病等(体調不良児・感染症対策)への対応。特にコロナウイルスに関しては徹底した対策を継続していく。
- ・子どもたちに向けた健康支援を行っていく。

●子育て支援計画

- ・子どもの利益を最優先するとともに、保護者の自己決定を尊重し、子どもの育ちを家庭と連携して支援していく。
- ・地域の子育て家庭への支援(交流の場の提供が難しいならば電話やメールなどを使って、育児相談など行っていく。情報紙の配布)

●地域との連携

- ・災害時における月津校下との協力体制を図る。
- ・地域の方との交流活動の充実。(リトミック先生他)
- ・地域行事に積極的に参加し、園行事にも参加していただく。(コロナ禍の動向を見ながら進めていく)
- ・情報誌を作成し、情報発信を積極的に行っていく。

●小学校との接続・連携

- ・小学校とは交流会、授業見学などを通して連携を図り、更なる関係性をコロナ禍の動向を見ながら構築していく。

- 今後もコロナ禍は続いていくだろうと思われるが、感染対策を徹底しながらも家庭や地域といかにつながっていけるかを職員皆で検討していく。

●加算事業実施予定

加算事業状況		加算事業
加算部分①	実施事業	処遇改善加算Ⅰ、副園長、教頭配置/学級編成調整/3歳児配置改善/満3歳児対応加配(未定)、チーム保育加算、通園送迎、給食実施
	未実施	外部監査費
加算部分②	実施事業	処遇改善加算Ⅱ、療育支援、事務職員雇上加算、冷暖房費、栄養管理
	未実施	指導充実加配、除雪費、降灰除去費、第三者評価受審
3月事業報告		施設機能強化推進、高齢者等活躍促進、施設関係者評価、小学校接続

●特別保育事業等実施予定

特別保育事業	補助金の有無	実施状況
延長保育促進事業	適用あり	実施
病児保育事業(体調不良児)	適用あり	1名配置
地域子育て支援拠点事業	小松市廃止	実施
一時預かり事業	マイ保育園	実施
保育体制強化事業	適用あり	実施予定
保育補助者雇上加算事業	適用あり	実施予定
外国児童支援事業	適用なし	在籍なし

●小松市単独事業等実施予定

小松市/わくわくサイエンス	100,000円/年	実施予定
小松市/元気っ子こまつ	50,000円/年	実施予定
保育環境支援(障害者雇用枠)	50,000円/月	実施なし
地域公益事業/カブッキーランド協賛支出	153,000円/年	実施予定

★定員と入園状況(下段は4月入園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小計	合計
1号認定				5	5	5	15	145
				5	6	4	15	
2号認定				20	25	25	70	125
				24	18	27	69	
3号認定	15	20	25				60	(86.2%)
	5	20	16				41	

幼保連携型認定こども園「中海こども園」

令和3年度事業計画

園長：片桐真二/副園長：清水啓子

★中長期計画

●教育保育目標

「遊びを通して様々なことを学び、生きる力を身につけていく」

- ・健康で心豊かな子ども
- ・感性豊かな子ども
- ・思いやりのある優しい子ども
- ・自分で考え、進んで行動できる子ども

●施設整備計画

年度	R1	R2	R3	R4	R5
計画					

<備考>

●人事計画目標

- ・組織力を高めていく。
- ・教育・保育の質の向上に向けて人材育成を図る。
- ・幼稚園教諭免許状の取得・更新の積極的推進。
- ・コロナ禍のため、受審できなかった第三者評価の受審の予定受審により職員の資質向上を目指す。

●収支計画目標

- ・1号認定の定員を割れないよう確保していく。

★単年度事業計画

●教育保育計画

- ・生きる力の基礎を育む。(心情・意欲・態度)
- ・発達や学びの連続性を大事にする。
- ・環境を通して行う教育及び保育を一体的に展開する。
- ・地域性を大切に教育保育に取り組む。

●健康支援

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止ための予防対策を職員皆で共通理解のもと継続していく。
- ・園児の健康状態や発育及び発達の状態の把握、一人一人の健康の保持及び増進を進めていく。
- ・疾病等への対応(体調不良児等への適切な処置、感染症対策・個別ケアへの適切な対応)
- ・子どもたちから発信する健康支援に取り組んでいく。

●食育の推進

- ・コロナ禍の中ではあるが、健康な生活の基本としての食を営む力の育成に向けその基礎を培う。また、意欲を持って食に関わる体験を積み重ねていくことにより食習慣の形成、食に対する興味や関心、感謝の気持ちを持つ。さらに自分の体や健康に関心を持って生活ができるようになる。
- ・地産地消、地元で採れた野菜の提供を心がける。

●子育ての支援

- ・子どもの利益を最優先し、かつ保護者の自己決定や自己選択を尊重するように努める。園と保護者が協力して、子どもの育ちを支えていく関係を構築していく。
- ・園開放はできない状態ではあるが、支援の必要な親子の把握に努め、メールや電話を利用しての育児相談、また、一時保育やプレ保育などを利用しての支援を行っていく。情報誌はこまめに出していく。

●地域との連携

- ・コロナ禍の中ではあるが、できる範囲での地域との交流活動を行っていく。地域文化の継承(仏御前、剣舞)また、地域資源を大切にしていく。
- ・災害に備えた環境づくり、緊急時対応マニュアル、子どもの引き渡しなど明確にし、さらに災害時における町内との協力体制を図る。町内の避難訓練に参加(園長・副園長・主幹)

●小学校との連携・接続

- ・小学校と連携して幼児期の教育と小学校教育が相互理解を深

めながらお互いの良質な部分が入り入れられるよう働きかけていく。

- ・園側からの学校へのアプローチを心がけていく。

●加算事業実施予定

加算事業状況		加算事業
加算部分①	実施事業	処遇改善加算Ⅰ、副園長、教頭配置/学級編成調整/3歳児配置改善/満3歳児対応加配(未定)、チーム保育加算、通園送迎、給食実施、講師
	未実施	外部監査費
加算部分②	実施事業	処遇改善加算Ⅱ、療育支援、事務職員雇上加算、冷暖房費、栄養管理
	未実施	指導充実加配、除雪費、降灰除去費、
3月事業報告		施設機能強化推進、高齢者等活躍促進、施設関係者評価、小学校接続、第三者評価受審

●特別保育事業等実施予定

特別保育事業	補助金の有無	実施状況
延長保育促進事業	適用あり	実施
病児保育事業(体調不良児)	適用あり	1名配置
地域子育て支援拠点事業	小松市廃止	実施
一時預かり事業	マイ保育園	実施
保育体制強化事業	適用あり	実施
保育補助者雇上加算事業	適用未定	実施未定
外国児童支援事業	適用なし	在籍なし

●小松市単独事業等実施予定

小松市/わくわくサイエンス	100,000円/年	実施予定
小松市/元気っ子こまつ	50,000円/年	実施予定
保育環境支援(障害者雇用枠)	50,000円/月	実施予定
地域公益事業/カブッキーランド協賛支出	111,000円/年	実施予定

★定員と入園状況(下段は4月入園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小計	合計
1号認定				5	5	5	15	105
				5	4	4	13	
2号認定				16	17	18	51	71
				12	10	13	37	
3号認定	8	11	20				39	(66.6%) 対前年 ▲7
	3	7	13				23	

幼保連携型認定こども園「蓮代寺こども園」

令和3年度事業計画

園長：堂前弘美/教頭：宮越洋美

★中長期計画(5ケ年計画)

●教育保育目標

- 「健康な心と体」
- 「あふれる意欲と好奇心」
- 「豊かな感情と道徳性」

●施設整備計画

年度	R1	R2	R3	R4	R5
計画	基本計画 小型バス導入	実施設計 園舎新築工事 防犯カメラ	赤りゃん獣推進事業		

●人事計画目標

- ・幼稚園教諭免許状更新・取得、保育士資格取得の推進。
- ・処遇改善加算Ⅱの効果的運用による人材育成と組織力向上。
- ・職員研修規程の積極的運用、キャリアアップ研修の計画的受講等により職員一人一人の資質向上とキャリアの構築。

●収支計画目標

- ・安定した園児数、補助金の確保による増収を図る。

★単年度事業計画

●教育保育計画

- ・園児一人一人の、周りの大人への信頼感や自分への自己肯定感といった心の土台(安全)を育み、環境を通して考え意欲を持って主体的に活動し、試行錯誤を繰り返す中で(自然)、人との関わりを楽しみながら社会性・人間性を育てていく(積善)子ども主体の活動により、学びに向かう力(意欲・好奇心・協調性・粘り強さなど)を育てる。
- ・「新しい生活様式」に十分配慮した教育・保育の実践により子どもの健やかな学びを保障する。
- ・新園舎の環境を生かした子どもの主体性を引き出す教育・保育活動を推進する。

●食育計画

- ・年齢に応じた食事のマナーを身につける。
- ・様々な体験を通して、自然の恵みと食に携わる人への感謝の気持ちを持って食事を味わう。
- ・地元で採れた野菜の提供等、地産地消を推進する。
- ・一人一人の子どもの食を営む力を育み、豊かな心と体を育てる。

●保健衛生計画

- ・子どもたちが心身ともに健康で安全に過ごせるよう保健管理(心身面・環境面)を適切に実施していく。
- ・子どもたちが自分の健康に関心を持ち、より健康な生活を送ることができる意欲と実践力を育てる。
- ・「新しい生活様式」を実践するために感染症対策を徹底し、子どもたちへの指導、積極的な情報発信による家庭への協力の呼びかけ等を行う。

●子育て支援計画

保護者との相互理解のもと、子どもの育ちを家庭と連携して支援していくとともに、保護者及び地域が有する子育てを自ら実践する力の向上を支援する。

- ・施設、設備、人材等、園の特性を生かした支援を行う。
- ・地域の関係機関等と連携及び協働し園体制の構築に努める。
- ・子どもと保護者のニーズにこたえた多様な事業・活動の展開(体調不良児対応型、預かり保育、障害児保育、保育参加等)
- ・地域の子育て支援センターとしての機能を果たす。(子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育て等に関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育て及び子育て支援に関する講習等の実施)。

●小学校との連携・接続

- ・学校見学、交流会(1年生)、連絡会等により積極的に連携を図る。

●地域との連携

- ・災害時における地元町内との協力体制の構築のための協定書の締結。
- ・地域の方々(太鼓の先生他)との交流活動の充実及び地域文化の継承。(蓮代寺太鼓・がめつき音頭他)
- ・情報誌を作成・配布し、情報発信を積極的に行っていく。
- ・施設や設備を有効活用した地域の高齢者等との交流計画の策定。

●加算事業実施予定

加算事業状況		加算事業
加算部分①	実施事業	処遇改善加算Ⅰ、副園長、教頭配置/学級編成調整/3歳児配置改善/満3歳児対応加配(未定)、チーム保育加算、通園送迎、給食実施
	未実施	外部監査費
加算部分②	実施事業	処遇改善加算Ⅱ、療育支援、事務職員雇上加算、冷暖房費、栄養管理
	未実施	指導充実加配、除雪費、降灰除去費、第三者評価受審
3月事業報告		施設機能強化推進、高齢者等活躍促進、施設関係者評価、小学校接続

●特別保育事業等実施予定

特別保育事業	補助金の有無	実施状況
延長保育促進事業	適用あり	実施
病児保育事業(体調不良児)	適用あり	1名配置
地域子育て支援拠点事業	小松市廃止	実施
一時預かり事業	マイ保育園	実施
保育体制強化事業	適用未定	実施未定
保育補助者雇上強化事業	適用未定	実施未定
外国児童支援事業	適用なし	在籍なし

●小松市単独事業等実施予定

小松市/わくわくサイエンス	100,000円/年	実施予定
小松市/元気っ子こまつ	50,000円/年	実施予定
保育環境支援(障害者雇用枠)	50,000円/月	実施なし
地域公益事業/カブッキーランド協賛支出	127,000円/年	実施予定

★定員と入園状況(下段は4月入園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小計	合計
1号認定				5	5	5	15	105
				6	3	6	15	
2号認定				15	15	15	45	▲15
				12	8	13	33	83
3号認定	10	15	20				45	(75%)
	3	15	17				35	対前年 ▲7

大和こども園分園「やざき乳児保育園」

令和3年度事業計画

園長：池田巧(兼務)/副園長：出村裕美

★初期計画(3ケ年計画)

●教育保育目標

- ・心身ともに健やかな子ども
- ・豊かな感性をもった子ども
- ・心やさしく思いやりのある子ども

●施設整備計画

年度	R3	R4	R5
計画		小型バス導入	

<備考>

●人事計画目標

- ・優秀な人材の確保(途中採用含む)。
- ・職員研修規程に基づき資質向上を図る。
- ・キャリアアップ研修の計画的受講等により、職員一人一人のキャリアの構築を目指す。
- ・幼稚園教諭免許状の更新の推進。

●収支計画目標

- ・園児数確保の努力により増収をはかる。

★単年度事業計画

●保育計画

- ・健康で安全な環境を整えて子どもの様々な欲求を満たし、子ども一人一人が安心して過ごせるようにする。
- ・家庭的な雰囲気の中で一人一人の子どもとの温かいふれあいを大切に、心地よく過ごせるようにする。
- ・様々な体験を通して、豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培う。
- ・受容的、応答的な関わりの中で、人に対する愛情や信頼感、生きる喜びを育む。

●食育計画

- ・個人差に応じて授乳、離乳を進め、健やかな発育、発達を促す。
- ・安定した生活リズムの中で様々な食品や調理形態に慣れ、食べることの喜びを感じられるようにする。
- ・地産地消を心がけ、安心、安全な食を提供する。

●保健衛生計画

- ・健康状態や発育及び発達の状態の把握、園児一人一人の健康の保持及び増進。
- ・疾病や感染症が疑われた時の適切な対応。
- ・新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら、感染予防対策を徹底していく。

●子育て支援計画

- ・子どもの利益を最優先するとともに、保護者の自己決定を尊重し、子どもの育ちを家庭と連携して支援していく。
- ・新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら、地域の子育て家庭への支援を行っていく。(交流の場の提供、育児相談や情報提供等の援助、子育てに関する育児講座等の実施)

●地域との連携

- ・災害時における地元町内との協力体制の構築。
- ・情報誌を作成し、情報発信を積極的に行っていく。

●加算事業実施予定

加算事業状況		加算事業
加算部分①	実施事業	処遇改善加算Ⅰ、栄養管理
	未実施	外部監査費
加算部分②	実施事業	処遇改善加算Ⅱ、療育支援、冷暖房費、
	未実施	指導充実加配、除雪費、降灰除去費、第三者評価受審
3月事業報告		施設機能強化推進、施設関係者評価

●特別保育事業等実施予定

特別保育事業	補助金の有無	実施状況
延長保育促進事業	適用あり	実施
病児保育事業(体調不良児)	適用あり	実施未定
地域子育て支援拠点事業	小松市廃止	実施
一時預かり事業	マイ保育園	実施
保育体制強化事業	適用未定	実施未定
保育補助者雇上強化事業	適用未定	実施未定
外国児童支援事業	適用なし	在籍なし

●小松市単独事業等実施予定

小松市/わくわくサイエンス	100,000円/年	実施未定
小松市/元気っ子こまつ	50,000円/年	実施未定
保育環境支援(障害者雇用枠)	50,000円/月	実施なし
地域公益事業/カブッキーランド協賛支出	未定/年	実施予定

★定員と入園状況(下段は4月入園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	合計
3号	6	11	12	29
認定	1	5	0	6 (20.7%)

放課後児童クラブ「芦城児童クラブ」

令和3年度事業計画

所長：田中琴乃

★中長期計画(5ヶ年計画)

●保育方針

「子どもたちの自己肯定感を育む」

- ・無条件に愛される体験
- ・褒められる体験
- ・共感される体験
- ・感謝される体験
- ・達成感を得られる体験

●人事計画目標

経験年数やそれぞれの役割等キャリアに応じた研修を推進し、支援員の質の向上や児童クラブの運営の向上に向けて、人材育成を図る。

★単年度事業計画

●生活環境を整える

ソーシャルディスタンスを意識し、感染予防対策をしながら、子どもたちが安心し、活動できる場となるよう空間や設備、備品等の配置や構成を工夫する。

●児童の自主性、社会性、創造性を育む

発達段階に応じて主体的な遊びや生活が可能になるように支援していく。

- ・学年に応じた行事の企画
- ・遊び仲間づくりへの援助
- ・縦割りのグループを作り上級生のリーダー性を育てる

●コミュニケーション力を高める

一人一人の違いを理解し、豊かに言葉を使って仲間と交わることができるように支援していく。

- ・こどもせんりゅう（表現力）
- ・読み聞かせ（聞く力）

●支援員の研鑽、研修

適切な支援を行うために支援員、補助員は資質の向上を目指し、自己研鑽に励み、研修に参加する。

- ・施設内研修の充実、事例検討会の開催
- ・研修会への参加によりスキルを磨く

●保護者との連携

子どもに関する情報を家庭と共有することにより、子育てと仕事等を両立できるよう支援する。

- ・アンケートの実施
- ・必要に応じた面談
- ・お便りの発行
- ・ホームページ、メール、アプリの活用

●学校・関係機関との連携

子どもに関する情報を学校と共有し、関係機関による定期的訪問により気になる子どもについての話し合いを行い適切な支援を実施する。

- ・学期ごとに学校との情報交換会を行う
- ・関係機関等による定期訪問

●事業実施予定(国庫事業)

実施事業	芦城児童クラブ1	芦城児童クラブ2
・基礎(綱)事業	児童数 45	児童数 45
・開設予定日数	年 291 日	
・長時間開設(平日)	6.5 時間/日超開所/30 分以上	
・長時間開設(長期休暇)	長期休暇中 8 時間以降開所/11.5 時間開所 (+3.5 時間)	
・障がい児受入促進(国・県)	1 名	1 名
・支援員等処遇改善	18 時 30 分以降開所と処遇改善実施	
・障がい児受入強化推進	3 名以上受入なし	3 名以上受入なし
・開所時間延長促進	12 時 30 分～19 時開所	
・キャリアアップ処遇改善	4 名	4 名

●事業実施予定(県単事業)

実施事業	芦城児童クラブ1	芦城児童クラブ2
・指導員複数配置促進 (障がい児受入促進)	障がい児 2 名以降 2 名	
・開所時間延長促進	12 時 30 分～19 時開所	

★定員と入所予定状況 (1/31 現在)

学年	定員等	芦城児童クラブ1	芦城児童クラブ2
		定員 45 名	定員 45 名
1 年生	20	20	20
2 年生	22	19	19
3 年生	10	7	7
4 年生	5	2	2
5 年生	1	1	1
6 年生	0	1	1
計	58	58	50

放課後児童クラブ「蓮代寺児童クラブ」

令和3年度事業計画

所長：竹下 沙知

★中長期計画(5ケ年計画)

●保育方針

「子どもたちの自己肯定感を育む」

- ・無条件に愛される体験
- ・褒められるという体験
- ・共感してもらえ体験
- ・感謝される体験
- ・達成感を得られる体験

●人事計画目標

・経験年数やそれぞれの役割等キャリアに応じた研修を推進し、支援員の質の向上や児童クラブの運営の向上に向けて、人材育成を図る。放課後児童支援員認定資格の取得等

★単年度事業計画

- ・保護者との信頼関係の構築

●生活環境を整える

子どもが安心して過ごせる生活の場として、ふさわしい環境を整え、安全面に配慮しながら、子どもが自ら危険を回避できるように支援していく。

●児童の自主性、社会性、創造性を育む

子どもの発達段階に応じて主体的な遊びや生活が可能となるように、自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等により、子どもの健全育成を図るよう支援する。

- ・子どもたちが主となる行事の計画
- ・季節に応じた行事の計画
- ・遊び仲間づくりへの援助

●コミュニケーション力を高める

子どもが自分の気持ちや意見を表現することができるように援助する。

- ・読み聞かせ（表現力・読む力・聞く力）

●支援員の研鑽、研修

適切な支援を行うために支援員、補助員は資質の向上をめざし、自己研鑽に励み、研修に参加する。

- ・毎日の打ち合わせによる子どもに関する情報の共有
- ・施設内研修の充実、事例検討会の開催
- ・研修会への参加によりスキルを磨く

●保護者との連携

常に保護者と密接な連携をとり、放課後児童クラブにおける子どもの様子を日常的に保護者に伝え、子どもに関する情報を家庭と共有することにより、保護者が安心して子どもを育て、子育てと仕事等を両立できるよう支援する。

- ・おえ時の声掛け
- ・お便りの発行
- ・ホームページ、メールの活用

●学校・関係機関との連携

子どもの生活の連続性を保障するために、情報交換や情報共有、職員同士の交流等によって子ども理解を深める。

- ・学校と年4回以上の情報交換会を行う
- ・関係機関等による定期訪問

●事業実施予定(国庫事業)

実施事業	蓮代寺児童クラブ
・基礎(額)事業	児童数 25名
・開設予定日数	291日
・長時間開設(平日)	6.5時間/日超開所/30分以上
・長時間開設(長期休暇)	長期休暇中8時間以降開所/11.5時間開所 (+3.5時間)
・障がい児受入促進(国・県)	1名
・支援員等処遇改善	18時30分以降開所と処遇改善実施
・障がい児受入強化推進	3名以上受入なし
・開所時間延長促進	12時30分～19時開所
・キャリアアップ処遇改善	3名

●事業実施予定(県単事業)

実施事業	蓮代寺児童クラブ
・指導員複数配置促進 (障がい児受入促進)	障がい児2名以降 1名
・開所時間延長促進	12時30分～19時開所

★定員と入所予定状況 (1/31現在)

学年	定員等	蓮代寺児童クラブ
		定員 25名
1年生		12
2年生		14
3年生		3
4年生		6
5年生		2
6年生		0
計		37

中高年齢者生涯学習講座「大和ぬくもり大学」

令和3年度事業計画

館長：広川 保

★中長期計画(5ヶ年計画)

●成り立ち

昭和19年6月に大和善隣館が開設され、小松市における福祉と文化・教育の拠点施設として多彩な活動を展開してきた。また、小松市より「小松市中央老人福祉センター」事業を受託し、大和善隣館において管理運営。中高年齢者の健康、就労等の相談、健康増進や教養の向上などの生活福祉の向上に努めていく。

●大和ぬくもり大学の設置

近隣地域における健康な中高年齢層を対象にその生活の向上と改善をはかるため、「であい・ぬくもり・ささえあい」を目標に利用者の生きがい創出を目指して、「大和ぬくもり大学」を設置している。今年度も教養・文化・体育部門にかかわる20講座2クラブを開設してきた(令和1年9月現在)。

●令和2年6月に小松市芦城センター改修工事完了し、各講座がリニューアルしたセンターを利用。

常勤職員1名体制へと変化したことにより、事業の自由性・拡張性は阻害されてきたが、この機会に講座の独立性と講師・受講生の自主性が発揮できる講座へと転換期に来ていたともいえる。

●少子高齢化が進み、就業人口減少が叫ばれる現在、高齢者就業制度が推進され、定年70歳の時代がすぐそこまで迫っている。

「大和ぬくもり大学」事業を継続の必要性と、維持できる体制構築の検討は続く。

●相談コーナーについて

小松市中央老人福祉センター委託事業である中高年齢者の生活福祉相談について、これまで本部機能との共存で社会福祉主事等の配置を実施できたが、単独運営時の相談事業についての質の低下は免れない。昨今の相談件数の減少の中で、当事業の在り方を再検討している。

●学園祭と卒業式について

新体制下での「学園祭」は開催できない体制となったためその分の事業費は、各講座の自主的対外活動に応援することとした。「卒業式」についても、6月最終週に授与式を行ってきたが、各講座主体での3月開催とした。

●大和ぬくもり大学の講座

開設講座	講師名	開講日
料理	江前 恵子	第1.3(金)午前
社交ダンス	関 武弥	毎週(火・木)午後
歌謡民謡	中西 和夫	毎週(火)(水)午後
茶道	大橋 みどり	第2.4(水)午前
華道	伊藤 精幸	第1.3(水)午後
俳句	有賀 三枝子	第2(木)午後
歴史	山前 圭祐	第4(木)午後
書道	有賀 虹萌	第1.3(水)午前
詩吟	辻 岳紬	毎週(金)午後
歌謡舞踊	千田 もと子	第1.2.3(火)午前
水彩画	曾我 章	第1.3(火)午前
パソコン	中村 潤哉	第1.3(金)午前・午後
小さな水彩画	曾我 章	第1.3(木)午後
ぬくもりヨガ	中嶋 美雪	第2.4(金)午後
陶芸	寺門 俊郎	第2.4(木)午後
リズムダンス	水高 敦子	毎週(水)(金)午後
加賀水引	水谷 絹代	第2(火)午前
合唱クラブ	朝岡明美・太田雪江 手取屋範子	第1.3(土)午前
囲碁クラブ		毎週(火)午後

●新型コロナウイルス感染予防対策

・昨年度同様に、感染が“終息”するまでは、ときの情勢に応じて講座運営の縮小と休止を前提に対応していく。

芦城センターでの再開時に、一部講座の再開を延期してきたが、歌謡民謡(カラオケ)講座の休止状態が続き、再開の目途はたっていない。

本部事務局

令和3年度事業計画

事務局長：広川 保

★中長期計画(5ケ年計画)

●法人理念の再確認

「善隣のこころ」

「いつでも どこでも そしてだれにでも

われ等善き善隣たらん」

先人が遺したこの想いを後世に伝えるために、その時代でのこの理念が持つ意味や価値を再考しながら、職員や児童・保護者等利用者に理解してもらえる事業を遂行していく。

●大和善隣館ブランドの浸透と確立。

・小松市内において、平成30年の「中海こども園」「蓮代寺こども園」の民営化、令和1年度「蓮代寺児童クラブ」の指定管理受託、そして今年令和3年4月「やぎき乳児保育園」開園と、法人の規模が3年間で2倍に拡大した。

<小松市内の保育供給量>

	施設数	定員
小松市	40	5,516
うち大和善隣館	6(15.0%)	814(14.8%)

・令和2年6月の芦城センターリニューアル工事完了により、大和ぬくもり大学運営を、同センターで再開することになった。法人本部同居から施設単独運営に変わり、担当職員や利用者(講師・講座生)にこれまでと同一のサービス提供を行えなくなりましたが、小松市委託事業の委託料増額を受け、唯一無二の同事業を長く継続していく義務を感じている。令和4年が30周年。時代も変わっており持続可能な手法を探り続けていきたい。

・事業規模が大きくなりながら、大和善隣館のブランドの浸透と確立が付いてきていないと感じることが多々ある。「石川県の」、「小松市の」といえば、まずは、選ばれる法人にブランディングしていきたい。人材採用時においても、同様に「選ばれる側」から、もう一歩先の「選ぶ側」にならなければならない

・法人設立から四半世紀を超え、令和3年度は法人名称変更となる再生期『Re:Born』の年となる。

昭和19年6月の設立

昭和27年5月の社会福祉法人小松市社会事業協会認可

平成18年4月の小松市大和善隣館への変更

そして令和3年4月の「大和善隣館」

法人の尊い営みは変わらないが、先人の功績の上に確かな足跡を残し、大和善隣館として100周年を胸を張って迎えるように法人を導いていきたい。

●今後の事業展開

・認定こども園、放課後児童クラブ共に複数施設を運営することから、事業の共通化と差別化・特色をバランスを取りながら導いていくことが本部の役割である。施設事業(運営と経営の両面)を尊重しつつ、施設の独立性・採算を担保し、担保させながら、仮に法人から切り離しても「核」あれば生き残る術を独立して持てる施設経営の自力を培わせていきたい。

京セラ 稲盛和夫氏は「会社経営とは一部の経営トップのみで行うものではなく、全社員が関わって行うものだ」という考えが貫かれています。組織をアメーバと呼ばれる独立採算で運営する小集団に分け、その小さな小集団にリーダーを任命し、

共同経営のような形で会社を運営していきます。各アメーバの活動の成果を分かりやすく示すことで、リーダーを中心に全社員が自分たちの収支を意識するようになり、それぞれの持ち場・立場で持てる能力を発揮し、利益確保に取り組むようになります。こうしてアメーバ経営は経営者意識を持ったリーダーを社内に育成すると同時に、全従業員が経営に参画する「全員参加経営」を実現します。と提唱しており、これは、認定こども園事業に求められるものと同じで、「利益確保」＝「教育・保育の質」)医療・介護事業者がこの考え方を取り入れて、厳しい情勢を乗り越えています。

・隣接能美市の公立保育所の民営化では、公立保育所の民営化を進めており「福島保育所」がその試金石として、令和3年4月から民営化される。この状況を注視しながら、法人の地力を蓄えていくのが、これから2~3年の目標と課題となる。人材確保と保育の質の確保に目途が立てば進出の機会を求めていくことも考えていきたい。また、能美市だけでなく、その他地域(金沢市・野々市市等)に向けてもアンテナを張り情報収集に努めていきたい。

●奨学金貸与事業

・福祉人材育成の応援資金として「奨学金貸与規程」制定、「定款」での公益事業認可を経て事業を開始。

開始初年度に利用実績1件があったのみ、普及しているとはいえず、奨学金制度の活用を促進すべく、引き続きPR活動を行っていき、特に県内在学生や出身学生への情報提供に注力する。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響より、計画した事業や実習生の受け入れ等を全面的に中止していたが、細心の感染症対策を講じたうえ、可能な事業については小規模にはなるが実施を検討・協議していきたい。

●職員採用・育成計画について

・採用計画において、奨学金制度の活用のほか、人材派遣や就職支援会社の活用により、「優秀な人材」の採用と育成に注力していきたい。

・キャリアパス規程に基づく、キャリアパスフレームの標準化と職員への周知徹底により、職員一人一人が自身のキャリアを長期的に捉えることにより、これが「事業の質」の向上につながるよう仕組みづくりと研鑽。

・令和1年度より管理職(園長・所長等)評価を実施。主幹等役職付の職員が上司である管理職を「評価・面談」し、管理職はその結果を受け、今後の施設運営(の改善)に反映していくよう心掛ける。

●本部機能強化

・令和3年度より開園する「やぎき乳児保育園」には法人本部機能も併設しているため、法人役員会の定期開催や職員研修会・各種会議が実施可能であることから情報収集の一元化も可能である。

・事務効率化の推進として、法人ネットワークの確立、各園施設に専従事務員を各1名配置、物品の一括購入も推進している。キャッシュレス決済の導入など新たな試みにより、事務作業の一段の効率化を進めていく。

●SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) 宣言

・SDGsは「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標であり、2030年を達成年限とし、17のゴール(開発目標)と169のターゲットから構成されている。小松市は国より「SDGs未来都市」に選定されており、小松市に拠点を置く社会福祉法人として取組に賛同し、法人目標達成し、社会貢献していきたいと宣言するもの。